



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本常一記念館内 TEL (0820) 78-2514



宮本コレクションの 企画展と図録刊行

宮本常一生涯110年を記念した企画展示を開催中です。この企画展は、宮本常一が全国を調査した聞き書きや自筆の原稿、さらに各地の写真など当館の収蔵資料を一挙に公開しています。庶民の語りを細かな文字で丹念に記したノートや、地図に書き込まれたメモからは、地域の暮らしに寄り添う宮本の姿勢が表れています。



【写真＝宮本常一の遺品と収集資料】

また原稿のマス目一つひとつを几帳面に埋めていく文字からは、土とともにも、海とともに生きる人たちの知恵と工夫を伝えようとする意気込みを窺うことができます。ぜひこの機会に宮本常一の息遣いを感じてみてはいかがでしょうか。

また展示品を中心に所蔵資料を紹介する『宮本常一コレクションガイド』を刊行しました。当館および書店にて販売中で、みずのわ出版では郵送販売もしています。

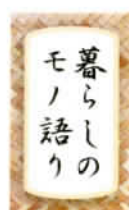
■宮本常一生涯110年企画展示「農山漁村の記録」

会期…11月28日まで（休館／水曜日）
問い合わせ…0820・78・2514
観覧料…大人300円・中学生以下150円

町内小中学生は無料

関連企画…トークセッション「宮本常一とふるさと周防大島」（10月21日 14時～16時）
展示解説…8月11日、9月9日、11月25日（いずれも14時～15時）

■『宮本常一コレクションガイド』（B5判カラー80頁、1500円）／郵送販売…みずのわ出版 0820・77・1739



足踏み式 脱穀機



米の収穫後の稲穂から籾を落とす際に用いる道具。

踏み板を足で踏むことで突起のついたドラムが回り、その突起部に刈った稲穂をあてて籾を落とす。リズムよく踏まないといドラムがうまく回転せず、籾を落とす力とならない。明治末期に普及し、作業能力が飛躍的に向上した。昭和30年代ごろまで使われたという。比較的単純な作業なので、「子供はこの足踏みを手伝いさせられた」という話を周防大島でもしばしば耳にする。この足踏み脱穀機が普及する以前は、扱き箸や千歯扱きといった手作業が主で、大変な労力をと

もなう作業であった。現在はコンバインやハーベスターといった機械を使って稲の刈り取り、脱穀、精米まで一気にこなうことができる。

昨年、久賀小学校の三年生を対象に、この

脱穀機を使った体験学習を行った。米作りの経験のない子らには新鮮だったようで、板の踏み具合や稲穂の当て方など試行錯誤しながら米作りの一工程を学習した。昔の人たちの生活は米の出来にかかっていたので、様々な工夫が積み重ねられて能率のいい便利な道具が生み出された。久賀に伝わる「なむでん踊り」も科学が発達した時代に、いかに害虫の被害を少なくするかという祈りのカタチだった。（八幡生涯学習のむら）

県指定文化財

「なむでん踊り」が開催

久賀地区に残る「久賀のなむでん踊り」が開催されました。この踊りは苗を植え終わる6月おわりから7月はじめにかけて行われ、稲に害虫や疫病がつかないように豊作を祈願する伝統行事です。作業の機械化や、転作、減反政策などによる稲作農家の減少など、時代の変化にともない、その意義も変化していますが、保存会を中心に現在も活動が継続されています。今年も6月24日に開催され、小雨のなかにも関わらず、多くの方が参観に来ていただきました。節回しや衣装など、目の前で繰り広げられる踊りに、昔の人の米作りに対する思いを感じることができました。



山口大学の 民俗調査実習

fieldwork



今秋、山口大学人文文学部の皆さんが周防大島での民俗調査実習を企画されています。それに

先だち、指導教官の谷部真吾先生たちに連れられて13名の学生が7月9日に来町し、宮本常一記念館を見学後、八幡生涯学習のむらで調査概要を発表。年中行事や信仰、ハワイとの交流の歴史や伝統を生かした観光イベント等々、さまざまな課題を周防大島で勉強したいとの発表がありました。同席した金本豊さん(久賀)、伊東康雄さん(同)、戎谷和修さん(三浦)、菊本雅喜さん(平野)が、各テーマに対して、よい調査ができるようにアドバイスしました。9月23日〜26日に島内各地で調査をされるので、学生さんを見かけたらぜひ話をしておいてください。

生涯学習講座 いろいろ



生涯学習
講座
いろいろ

梅ジュース&梅ジャム作り体験

「町衆文化の薫る郷公園」で収穫した梅を使って、6月10日に梅ジュース、さらに18日には梅ジャム作りと2日の日程で体験会を開催。手作りの季節の味を求めて参加した皆さんは、新鮮な梅を調理しながら楽しい体験のひとつを過ごしました。



表具講座の開催

6月17日〜7月2日の土曜、日曜、全6回の日程で、表具講座を開催しました。久賀の表具工指導員である金本豊さんが今回も講師を

引き受けてくださいました。和紙の扱い方、装料(表具用の生地)、糊の使い方などを教えていただきながら、一つの掛け軸を作成する講座となっていて、秋にも開催を予定しています。



感謝、感謝
移民データベースを使って

日本ハワイ
移民資料館

我が家の近くに大き

な二階建ての家があります。入母屋作りの堂々たる家です。事情があつて、売りに出されていたところを私の父が買いました。私が



小学高学年の時で、父は「この家は従兄がハワイに行き苦労の末に親元に送金をして建てた家だ」と言っていました。彼は男の子一人で、十八の歳にハワイに行く決心をし、親の許しを得て渡航しました。この時、近所の同年代の二人も同行したそうです。明治39年1月10日、日本を出航し1月19日にハワイのホノルルに到着しています。

これらの情報を求めて私は数年前日本ハワイ移民資料館に行き、記録名簿を探しましたが、見つけることは出来ませんでした。しかし昨年、町では外交史料館の協力を得て、「官約移民」以後の「私約移民」の渡航記録も冊子・データ化し、渡航者名で検索が可能となったことを知りました。私が父の従兄の記録を探し出せたのは、このデータ検

索が出来はじめた丁度その時でした。データ化の為に鋭意努力された人達に本当に感謝します。また、移民資料館のスタッフの方々の協力により、その足跡や記録を探し出すことが出来、さらにはハワイの関係者とも交信が出来ることとなりました。

大きな志を持って太平洋を渡り苦労を重ね生き抜いた人々。その歴史を受け継いだ子孫の方々と交信が出来るのは無上の喜びです。これからハワイやワシントン州の親族の方達との交信ができるのを楽しみにしているところです。今後も資料館の皆様のお力をお借りすることがあると思いますが、よろしく願います。

(周防大島町久賀/大田六郎)

※今回は大田さんの手記を掲載させていただきました。当館では、利用者の方の感想などをお待ちしており、ご紹介させていただく場合もあります。

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼正しい知識で楽しいトレーニング!

専門スタッフが機械の使い方、トレーニング方法についてアドバイスいたします。「使い方が分からない」「何を何回やれば



いいの?」「運動前のストレッチはどうすれば?」などの悩みを解消します。ジムから足が遠のいていた方!この機会に再開してみませんか。

【日時】毎月第4木曜 13時30分〜15時30分
【料金】200円(トレーニングルーム利用料)
予約不要・受付までお声がけください。

新規の方も即日登録できますので、お気軽に参加ください。会員証の再発行もその場でOK。

TEL: 0820・78・2512

開館時間: 9時〜21時
(金・土・日・祝日は17時まで)

八幡生涯学習のむら

▼企画展「竹製品から見た周防大島の暮らし」を開催中

久賀歴史民俗資料館が所蔵する竹製品を中心に展示。いまプラスチック製品が生活用品の主流ですが、昔は竹や木を編んだものが主役でした。今回は竹製品に着目し、竹と暮らしの変化を考えてみたいと思います。

会期: 11月26日(日)まで(月曜休館)

開館時間: 9時〜16時

▼歴史講演「周防大島と源平合戦」を開催

古代の古記録、古典籍を中心に周防大島の歴史を学んでみませんか。

講師: 斎藤拓海氏(福山大学非常勤講師)
日時: 9月16日(土) 13時30分〜15時

会場: 語らいの間
※入場無料、申し込み不要